

多職種協働による在宅チーム医療を担う 人材育成研修ニュース No. 2

西区役所高齢・障害支援課

電話：320-8410

平成 29 年 3 月発行

地域包括ケアシステムの推進に向けて、西区在宅医療相談室と連携し「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修」を開催しました。仮想の事例をもとに1回目は同職種、2回目は多職種でのグループワークを行いました。事例について話し合う中での気づきや今後多職種と連携するために何ができるかなどたくさんの意見がありました。



「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修」

日時：平成 29 年 2 月 10 日（金）19 時～21 時

場所：西区役所会議室

メンバー：医師・歯科医師・薬剤師・看護師・ケアマネ
・リハ職・介護サービス事業者・地域包括支援センター

参加人数：56 名



西区医師会の増田先生
より在宅医療相談室の
役割と現状についてお
話いただきました。



◆仮想事例（概要）◆

80 歳代女性。90 歳代の夫と 2 人暮らし。

家事は完璧にこなし、近所づきあいも良かった。ここの所、近所の方が声をかけても会話がかみ合わないことが多くなった。身なりもきちんとしていた人が気にしなくなり、最近見かけなくなったと民生委員が自宅訪問したところ、家の中がゴミ屋敷状態で本人はこたつに入り動けなくなっていた。夫の話ではトイレは何とか這って行っていたとのことだが、室内は尿臭あり。下肢に軽い低温火傷をしていた。特に病気はなく近所にかかりつけ医もない。すぐに地域包括に相談、ケアマネが入りサービスを導入しようとしたが、本人が拒否。夫は介護しようという気持ちはあるが、うまく介護できていない。サービスに対しての拒否はない。

< 1 回目グループワーク（同職種） >

A：他にどんな情報が必要か

B：今後危惧されることは何でしょう

A：既往歴、経済状況、自宅の環境、拒否の理由、
息子との関係、生活状況…など

B：病状の悪化、感染症発症、近隣とのトラブル、
低栄養、脱水、経済的な問題…など



< 2 回目グループワーク（多職種） >

B に対してどんな支援が必要か

- ・医療の面から介入していく
- ・夫からサービス利用進める
- ・地域住民へ見守り依頼
- ・衣食住の環境整える
- ・ケアマネに情報集まる体制づくり…など

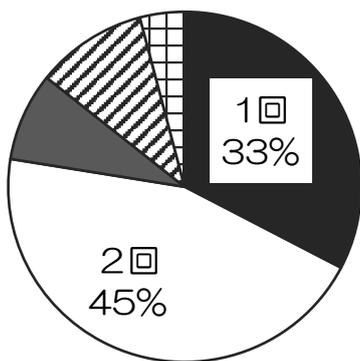
～参加者の方の声～

- 各職種の意見、考え方を色々聞かせて頂き参考になりました。
- 他の意見にハッとするようなお話があった。
- 多職種の意見が聞けた事はもちろん、顔を合わせ話し合いが出来た事がとても良かったです。
- それぞれの専門職で問題のとらえ方、予後予測が違いとても勉強になりました。
- 歯科医師の先生のお話が聞いて良かったです。
普段お話をする機会が少ない（ほとんど無い）ので。
- 切り口はひとつでは無いということを再確認できた。
- 実際にうまくいった事例、失敗した事例とその原因についてのお話をうかがいたい。
- 活発な意見交換ができて参考になりました。ケアマネの重要性を再認識できました。
- 実のある時間を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。
徘徊ネットワーク、対策など勉強して行きたいと考えております。
- とても良い研修でした。又参加したいと思います。ありがとうございました。

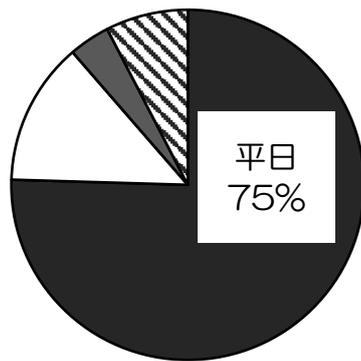


開催日時について

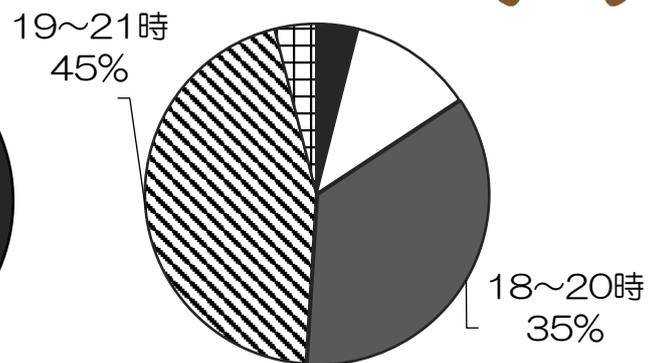
開催回数



曜日



時間



今後の人材育成研の開催の回数や日時について、参加者の方にアンケートを記入していただきました。

研修は年1～2回、平日の夜の時間帯を希望される方が多い結果となりました。この他にも研修についてのご意見もいただきました。

このいただいた意見も参考に、今後も医療と介護の連携が推進されるよう人材育成研修を開催していく予定です。

